日野江城跡（国指定史跡）
日野江城は、自然の地形を利用して中世に築かれた石積みの山城。二の丸などは16世紀に特徴的な築城技術を用いて造られた

キリスト教文化遺産群を訪ねて……❶南島原市

キリシタン大名の栄華を伝える日野江城跡

島原半島南部を領有した有馬氏の居城、日野江城。1562年、領内の口之津を貿易港として開くと、翌年、宣教師のアルメイダが布教を開始。有馬義貞（義直）とその子晴信もキリシタン大名となり、城下には教会が建てられ、日本初のセミナリヨ（初等教育の神学校）が開校するなど、キリスト教文化が花開きました。

1595年に城に訪れた長崎在住のスペイン人アビラ・ヒロンは、著書『日本王国記』の中で、絢爛（けんらん）豪華な城内の様子や手入れの行き届いた庭園、茶室があったことなどを称賛しています。

その後、有馬氏に代わり、1616年に松倉重政が領主になると、新たに島原城を築くこととなり、日野江城は原城とともに廃城となりました。現在は石垣や空堀（からほり）などが確認できるだけですが、発掘調査では、金箔瓦や海外から輸入された陶磁器など、南蛮貿易を背景にした有馬氏の繁栄をうかがうことができる遺物が見つかっています。

吉利支丹墓碑
1929年、西有家町で発見されたもの。半円柱形状（カマボコ型）で、碑文は日本最古のローマ字によって記され、国内のキリシタン墓碑の中で唯一の国指定史跡の文化財。島原半島各地では、このような墓碑が多数、発見されている

【キリスト教文化遺産群】
キリスト教文化遺産群は、世界遺産候補「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」とともにキリスト教が日本でどのように伝わり、広まり、根付いていったかを示す貴重な遺産です

おらしょ こころの旅　検索

問合せ　県の世界遺産登録推進課　☎095-894-3171

［発行］長崎県広報課　〒850-8570（住所不要）
TEL.095-824-1111　FAX.095-828-7665
知事の会見や県政番組は　よかテレ　検索　よかテレ nagasaki yokayoka.tv